

見通し 1 学習課題を確認する。[情]【完成度&課題確認タイム】

毎時間の振り返りで記録しているグループの演奏の完成度を振り返り、だんだんと完成度が高くなってきていることを確認した。また、前時にグループで考えた、タンゴらしい演奏にするための課題も併せて振り返ることで、本時はその課題を解決することによって完成度を高めたいという思いをもち、前時設定した学習課題で本時も引き続き学習することを確認した。

完成度をもっと高くして、コンクールで金賞が獲りたいです。

今日は「弾む演奏」と「ピタッと終わる」課題が解決できれば、完成度が高くなると思うな。

【価値付け】「練習したいですか」と全体に問い、返事をしたりうなずいたりする姿に、「みんなやる気満々だね。完成度が上がりそうだ」などと、やる気を高める姿に共感した。



金賞を目指してグループの演奏をもっとよくしよう

行動 2 課題を解決するための方法例を全体で考える。

全グループ共通の課題であった「タンゴらしく弾む演奏」にするために、前時に強弱を工夫したグループや、スタッカートを強調する工夫をしたグループを紹介し、課題解決への見通しをもてるようにした。



曲の最後の3段目は、スタッカートがない部分をなめらかに、スタッカートの部分を短く強く強調して演奏しました。

弾むところとそうでないところをはっきりさせるのか。僕のグループでも試してみたいな。

行動 3 グループの課題を確認し、練習方法や言葉かけを工夫しながら練習する。

【共】【忍】【完成度を高める秘訣ボード】

グループの課題を解決するために、「秘訣ボード」(演奏をよりよくするために大切なことを子供たち自身が考えてまとめたもの)に書かれている「まずはゆっくり演奏してみる」といった練習方法や、「一緒に練習しよう」といった話型の中から自分や友達の状況に合ったものを選び、それらを実際に使うことで共感性や忍耐力を発揮しながら練習ができるようにした。

共感性を発揮する姿

鍵盤を叩くように演奏したら弾む感じになるよ。まずはゆっくりやってみよう。

忍耐力を発揮する姿

ありがとう。できるようになるまで何度も練習してみるよ。



【価値付け】振り返り場面で、一人一人の発揮した力に応じて教師が予め用意したコメントを表示し、共感性や忍耐力を発揮しながら練習に取り組んでいたことを称賛した。

振り返り 4 本時の学習を振り返る。[自]【完成度&頑張りチェックシート】

1人1台端末を用いて、本時のグループの演奏の完成度を「完成度チェックシート」に記録した。次に、完成度が高くなった理由を「秘訣ボード」の項目から選ぶことで、行動場面における自分の頑張りを振り返ることができるようにした。



諦めずに何度も練習して、弾む演奏ができるようになってきたから完成度が上がったよ。次はコンクール本番だから、弾んだ演奏を心がけて演奏したいな。

【価値付け】「自分が頑張ったことを感じられているね。演奏がよくなったからコンクールが楽しみだね」と称賛した。

考察 (○ : 成果, ● : 課題)

- 「秘訣ボード」が具体的な行動例や話型で示されていたため、子供が活用しやすいものになっており、「共感性」「忍耐力」の発揮が目に見える形で表出されていた。
- 1人1台端末を効果的に活用し、全体に対してだけでなく、一人一人の学び方に応じた価値付けをその場で行うことができていた。
- グループの課題の解決方法がわからず、ただ演奏技能を高めることに終始してしまった子供も見られたため、共通理解をしておくよかった。

4西きょう力のひけつ

練習方法を 思いやる

練習にさそう

「いっしょに練習しよう」
 ・できる人だけで練習しない

「こうするとよく弾めるじゃない?」
 ・同じパートの人とあわせて練習する
 ・少ない人数にはかけて練習する
 ・よんでリズムをとって弾ける

友だちのいいところを伝える

「すごく上手だったよ」
 「その意見いいね、やってみよう」
 「○○ができていたよ」
 ・わかるように話さる、よいところを伝える

助けがひつようが聞く

「助けられることある?」
 ・相手の気持ちになって考える

【秘訣ボードの一部】